

令和4年度熊本県商店街基礎調査結果

1. 商店街基礎調査の概要

(1) 調査目的及び調査内容

商店街振興施策を進めるうえで必要な基礎的な情報として、県内商店街の実態及び経年変化を把握する目的で、毎年3月末日現在の県内商店街の店舗数等を調査

(2) 調査対象

15店舗以上で構成される商店街振興組合、繁栄会等の団体、また、組織体制はないが近接する15店舗以上で形成されている街区

(3) 調査基準日

令和4年3月31日

(4) 調査方法

市町村に、所管する商店街についての調査を依頼し、県において集計

(5) 回収率

74.2% (調査対象の155商店街のうち、115商店街から回答)

(6) その他

令和2～3年度は、熊本市以外分のみ実施。熊本市分は未実施のため、空き店舗率については、熊本市が実施した調査結果を活用。(当該2年間の熊本市分の開店開業率及び閉店廃業率調査は未実施)

2. 調査結果

◇ 空き店舗率

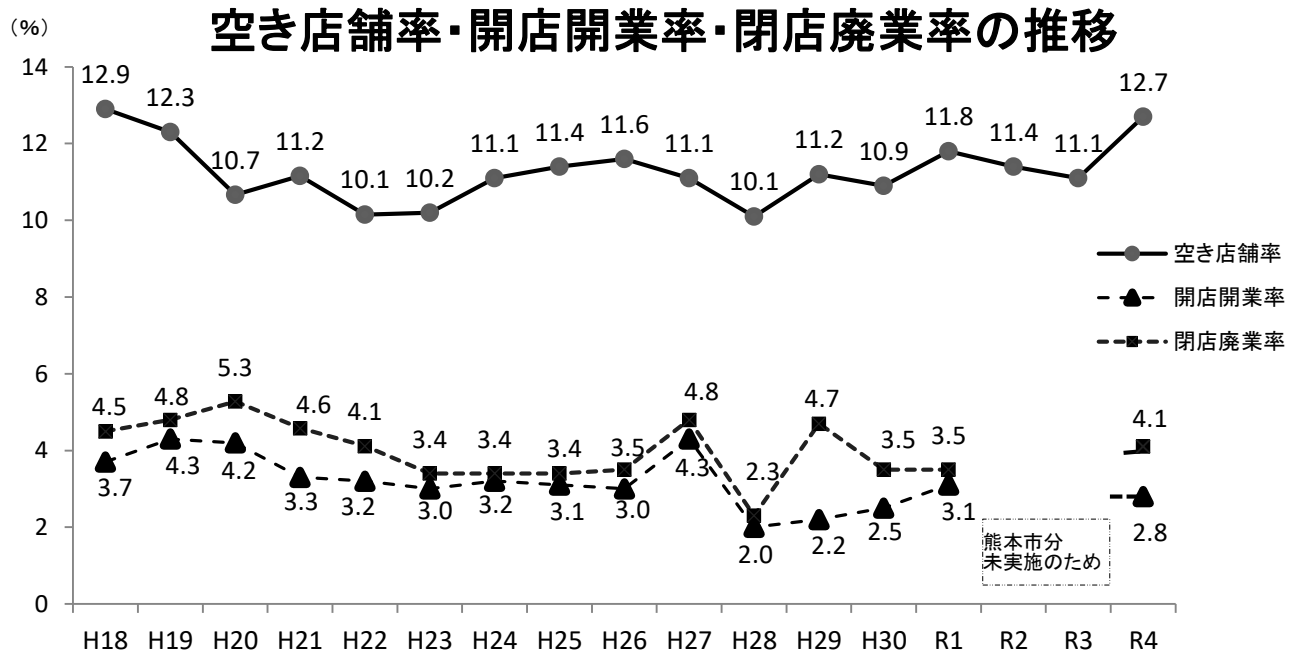
12.7%

◇ 開店開業率

2.8%

◇ 閉店廃業率

4.1%

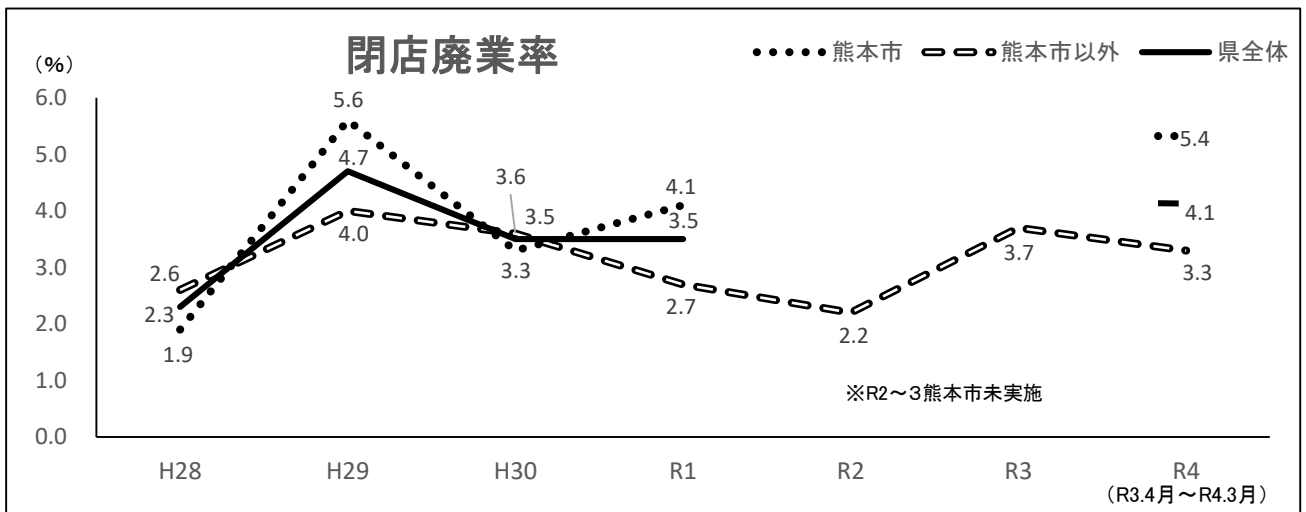
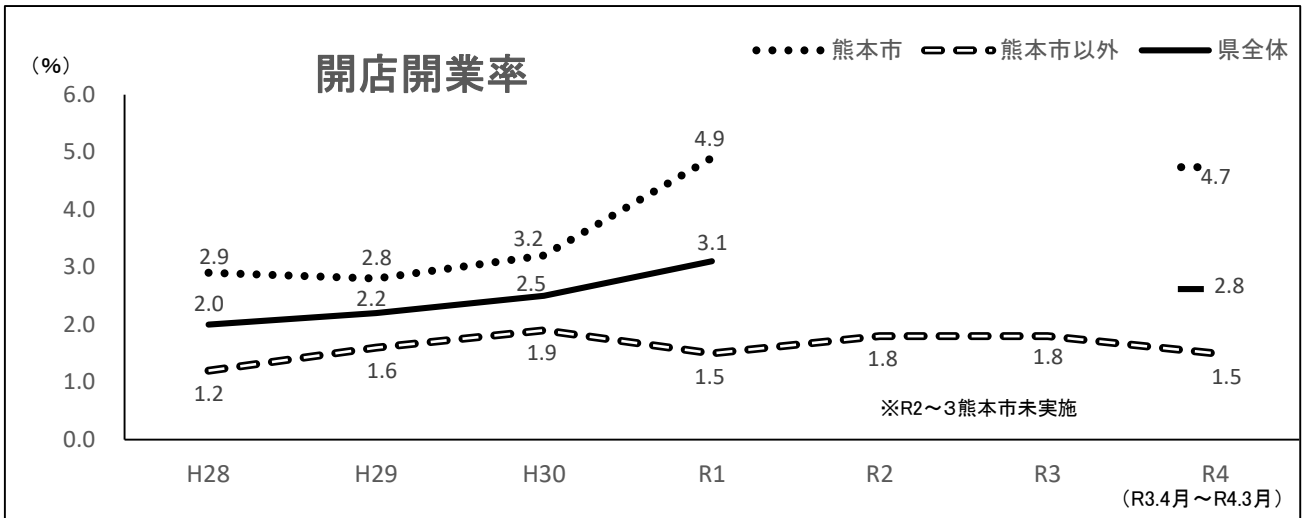
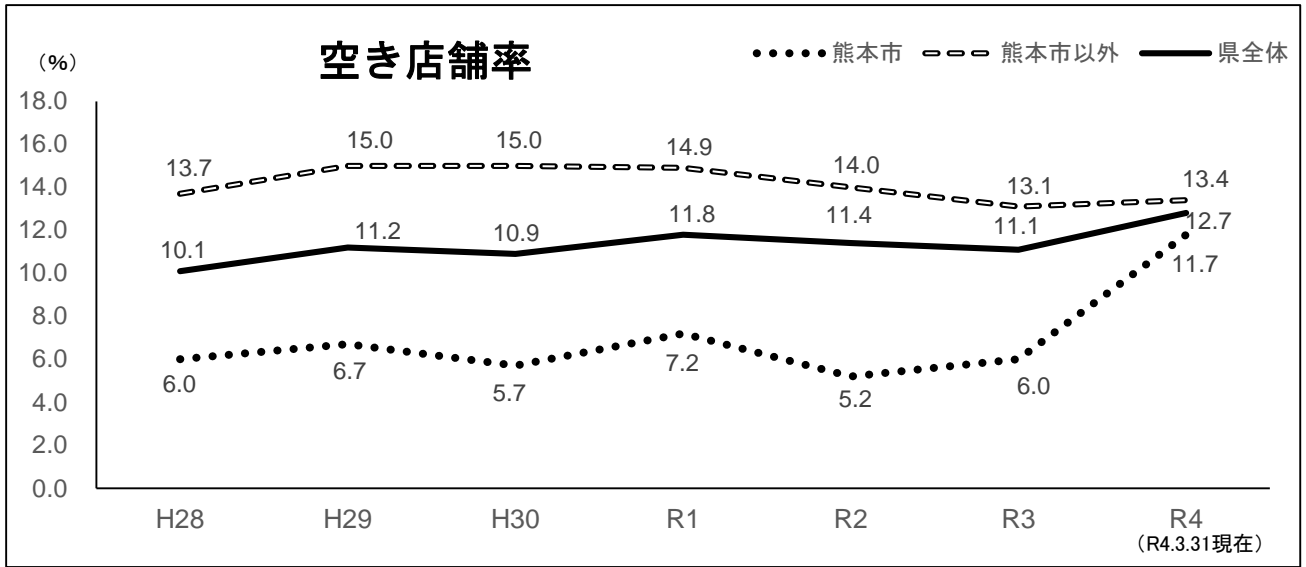


◇ R4.3.31現在の空き店舗率：空き店舗数／総店舗数×100

◇ R3年度中の開店開業率：R3年度中の開店開業数／R4.3.31現在の営業店舗数×100

◇ R3年度中の閉店廃業率：R3年度中の閉店廃業数／(R4.3.31現在の営業店舗数－開店開業数＋閉店廃業数)×100

◆熊本市とその他市町村の比較



- ・ 調査対象である15店舗以上で構成されている商店街が、前回(R1)の調査時から16減少している。(内訳：熊本市 1減少、熊本市以外 15減少)
- ・ 空き店舗率が前年に比べ増加しているが、特に熊本市の増加が目立っている。
- ・ 熊本市以外の開店開業率は、コロナ禍にあっても横ばいであったが、R4は少し下がっている。